

女性フラザ

男女共同参画支援室だより

Vol. 29

2016.3発行

茨城県女性薬剤師会のご紹介

◆活動内容を教えてください。

茨城県女性薬剤師会は昭和28年に設立されました。現在会員数は140名です。社会現象もあるのでしょうか、会員が徐々に減少しています。日進月歩と云われてきた医療も、現在は日々刻々と進歩しています。私たち薬剤師もそれについていかねばなりません。日本薬剤師会で認定される認定研修会を、少なくとも年に2～3回開催しています。薬剤師継続学習通信講座として年に8回テキストが送られ、自己学習。そして年度末には、それらの中から選んだもの4題を一日掛かりで集合研修します。その他年1度東京を会場に学術講演会（これも一日）、各県持ち回りの移動セミナーや関東ブロック研修会があります。且つ、日本薬剤師会の学術大会（各県持ち回りで二日間）、茨城県薬剤師会の学術大会と集合研修会に参加します。そして今年度は、茨城県女性活躍推進企画提案支援事業の補助を得て、県民公開講座を開催しました。茨城県女性薬剤師会の会報誌“のいばら”を年1回3月末に発行しています。又、新年会で親睦を深めています。



▼茨城県女性薬剤師会 県民公開講座
「薬と食品（機能性食品など）の飲み合わせ」



◆女性薬剤師ならではの活動およびその活動において大切にされている視点は何ですか。

女性薬剤師としての気配り、目配りを大切にしています。異性として男性薬剤師に相談できないことなどに耳を傾ける。来局される患者（お客）さんの中に介護をしているのかな？と思われる方には何気なく心配りのある言葉を掛けるなど少しでも癒しの時を過ごして頂けるように。患者さんのお宅を伺った時には女性としての目線と言葉で接し、感じたこと等を関係者と連携・共有しています。主婦、母親である女性薬剤師はお互いの家庭環境を大切に働いています。

◆女性薬剤師として働くこと、また、その支援からみえる男女共同参画についてご意見をお聞かせください。

昔から、薬剤師という職種自体が女性が多い(6:4)こともあり、待遇面での問題は、他の職種に比べて少ないと思うのですが、やはり、女性の出産にかかる時期、産前、産後の期間等、仕事の両立ができない時間があり、医療人としては、休んでしまう時間を日進月歩の医療の進化に引け目を感じる女性も多いのではと思います。ですが、これからの2025年問題に向かって在宅医療の推進が叫ばれている中、女性薬剤師の活躍はますます重要になってくると思います。

人としても医療人としても大切な経験の一つであるといっても過言でない出産というイベントを周りの仲間と補うこと、介護も含めお互い様の社会を切望します。

◆今後の活動への想い、メッセージをお願いします。

国家資格を持った職能団体であり、歴史も昭和28年からの会です。先輩たちが作ってくださった道に恥じる事の無いように、地域の科学者としても、これからの超高齢社会に優しい、地域力UPのために活動していきたいと思っています。その事は地域の健康寿命の延伸にも関与できると確信しています。

薬を始め、サプリメントや健康機能食品、ソフト食などの情報、みなさんが健康に暮らしていけるよう、飲み方、養生法、予防法を啓発相談指導して行きたいと思っています。

地域のみなさんが気軽に相談できる女性薬剤師会を目指すため、自己研鑽も忘れる事なく頑張っています。

▼日本女性薬剤師会関東ブロック研修会(神奈川)



【茨城県女性薬剤師会】に関するお問い合わせは

〒310-0022 水戸市梅香 2-2-46 TEL029-227-7007 会長 本多 美知子

第4回男女共同参画チャレンジ支援セミナー

平成28年3月4日(金) 13:30~15:30

私流～美味しい珈琲のたしなみ方 ～ママバリスタのプチ起業ストーリー～

【講師】 カフェくーり・オーナー／SCAJ コーヒーマイスター

ほその ようこ
細野 陽子さん

コーヒーの移動販売やコーヒー教室を手掛ける「カフェくーり」オーナーの細野陽子さんをお招きし、子育てをしながらの起業ストーリーやハンドドリップ式のコーヒーの淹れ方を教えていただきました。

「できる時にできるまで」をモットーに、仕事と子育てを両立させる為に、平日9時～17時までを自分の時間と決め、「土日は家族の時間。できる範囲の線を引くことも大事」と話され、子育てをしながらイキイキとコーヒーに向き合っておられる先生の姿がありました。女性が働く上で、新たなロールモデルを知るきっかけとなりました。

実演いただいた先生のコーヒーの味を参加者一同で堪能し、優しい時間を過ごすことができました。

参加者の感想

- ・自宅でもハンドドリップコーヒーにチャレンジしてみたい。
- ・コーヒーに関する仕事をしたいのでこれからの参考になった。



私らしくキャリアアップ！働く女性応援講座

平成28年1月27日(水) 10:00~14:10

心のエンジン・7つのリーダーシップ講座

【講師】 米国 CCE 認定 GCDF-Japan キャリアカウンセラー

かわむら たかこ
川村 貴子さん

キャリアカウンセラーである川村貴子さんを講師にお迎えし、女性の働き方について学びました。

世代の流れによって働き方にも変化が見られ「介護をしながら」「子育てをしながら」働く時代となり、様々な事情や思いを抱えながら働く中、それを理解し、良い所を引き出すオーケストラの指揮者のようなリーダーが求められると話されました。

ワークショップでは、心理学に基づいたカードを使い、個々の心の癖を探る作業を行いました。参加者の皆さんも熱心に耳を傾けておられました。



講座終了後 (14:10~15:40)

☆☆『メンター交流会』を開催しました☆☆

メンター（県内企業・団体に勤める先輩社員）とメンティ（講座参加者）との交流会では、知識や経験豊富なメンターが、メンティの日頃抱えているキャリアや仕事、子育て等の悩みについて、仕事や家庭との両立等に関する助言を行いました。



参加者の声

非常に参考になり、自分を見つめ直す良い機会となった。

《県南・県西ブロック》

日時：平成28年2月17日(水) 13:00~16:00 場所：茨城県県西生涯学習センター中講座室

関東・東北豪雨でのボランティア活動を通して～女性のための支援物資のひろば～

【事例発表者】 前常総市長 ^{はせがわ のりこ} 長谷川 典子さん

常総の水害におけるご自身の体験談を語っていただいた。自宅であるお寺を開放され、避難所として受け入れ、食料の行き届かない地域には自らが届けに向かれた。避難所では、「女性のための支援物資の広場」を開設され、女性目線の温かい支援が行われた。日頃からの、人や情報のネットワーク作りや女性のきめ細やかなボランティア意識を防災計画へ取り入れることが重要であると述べられた。



男女共同参画の視点で考える防災

【講師】 静岡大学教育学部教授 ^{いけだ けいこ} 池田 恵子さん

男女共同参画の視点で考える防災について、ワークショップを交えてお話しいただいた。

プライバシーや衛生が保たれない避難所の状況や、物資に関する要望の男女差等、当事者でなければわからないことも多く、男性だけでなく、意思決定過程への女性参加を促進させる必要があると話され、男性では気づきにくい女性ならではの視点を取り入れた他県の好事例もご紹介いただいた。



《県北・鹿行ブロック》

日時：平成28年2月19日(金) 13:00~15:30 場所：茨城県水戸生涯学習センター大講座室

中学校における男女共同参画出前講座～固定観念にとらわれない職業選択～

【事例発表者】 行方市市長公室政策秘書課主幹 ^{みやざき のぶこ} 宮崎 信子さん

毎年行方市で行われている、中学2年生の職場体験に合わせ、中学2年生を対象とした出前講座の事例結果を伺った。

推進員からの発案で行方市が事務局となり開催。男女共同参画とは？からスタートし、「なりたい職業ランキング」の男女別結果を基に、男らしい仕事や女らしい仕事などの垣根は無く、男女の違いはないという気づきを大切にしてほしいと話された。クイズ形式で行い、わかりやすく生徒を飽きさせない工夫が詰まった講座であったとのことだった。



子育てと自分育て～次世代育成のために～

【講師】 中央大学法学部教授 ^{ひろおか もりほ} 広岡 守徳さん

子育てと自分育てについて、自らの家庭生活における葛藤や失敗談も交え、お話しいただいた。

自分の家庭においても、他人に対しても、「見ないふり」をしてしまっていないか。世代と世代の繋がりを強くするためには、思っていることを上手に伝え、お互いに認め合うことが大切である。子育てによって自分が犠牲になるのではなく、周りがサポートすることで「誰もが主人公」になることができると話された。



新刊図書

図書コーナーにて新刊図書を入荷いたしました！
お気軽にご利用ください。



図書 及び DVD名	著者等名	出版社
ふたりのママから、きみたちへ	東 小雪・増原裕子	イースト・プレス
男性漂流 男たちは何におびえているか	奥田 祥子	講談社
親孝行できるかな？	たかぎ なおこ	KADOKAWA
こうして、思考は現実になる 2	ハム・グラウド	サンマーク出版
ママの仕事復帰のためにいかに会社も知っておきたい46のアイデア	NPO法人ファザ・リッジ・ジャパン マザーリッジプロジェクト編	労働調査会
悪口を言う人は、なぜ、悪口を言うのか	和田 秀樹	ワック
定年女子	岸本 裕紀子	集英社
出生前診断	河合 蘭	朝日新聞出版
日本の大課題 子どもの貧困 社会的養護の現場から考える	池上 彰	筑摩書房
もしも人生をやりなおせるなら	ナディーン・ステア	ディスカバリー・エンタテインメント
ふたり老後もこれで幸せ	辻川 寛志	水曜社
「育休世代」のジレンマ 女性活用はなぜ失敗するのか？	中野 円佳	光文社
ウーマノミクス	クリア・シンプマン、キャティ・ケイ	アルファポリス
なぜ、女性が活躍する組織は強いのか？ 先進19社に学ぶ 女性の力を引き出す「仕組み」と「習慣」	藤 幸子	日経BP ヒット総合研究所
なぜ、時間管理のプロは健康なのか？	佐々木 かをり	ポプラ社
可愛い世の中	山崎ナオコーラ	講談社
子育てがプラスを生む「逆転」仕事術	小室淑恵	朝日新聞出版
「産む」と「働く」の教科書	齊藤美和・白河桃子	講談社

図書 及び DVD名	著者等名	出版社
女の子の幸福論	大崎麻子	講談社
111歳、いつでも今から	後藤はつの	河出書房新社
伸びる女(ひと)と伸び悩む女の習慣	関下 昌代	明日香出版社
なかったことにしてくれない～実父から性虐待を受けた 私の告白～	東小雪	講談社
妊活バイブル 晩婚・少子化時代に生きる女のライフプランニング	齊藤秀和・白河桃子	講談社
ハワハラ防止のためのアンガーマネジメント入門：怒り、イライラのコントロールで、職場は変わる！成果が上がる！	小林浩志	東京経済新報社
一番よくわかる離婚の準備・手続き・生活設計	森公任・森元みのり	西東社
新・気づいて乗り越える 精神的DVに悩む女性のためのガイドブック	長谷川七重・グループおん	メディアアイランド
失職女子。	大和彩	WAVE出版
おとなになるってどんなこと？	よしもとばな	ちくまプリマー新書
火花	又吉直樹	文芸春秋
置かれた場所で咲きなさい	渡辺和子	幻冬舎
聞いただけで自律神経が整うCDブック	小林弘幸	アスコム
嫌われる勇氣	岸見一郎、古賀史健	ダイヤモンド社
娘になった妻、のぶ代へ	砂川 啓介	双葉社
ひとり親の子育て	諸富 祥彦	WAVE出版

法律相談

普段抱えている困りごとはありませんか？離婚、借金、交通事故、相続など…女性の弁護士が様々な困りごとに無料でお答えします。お気軽にご相談ください。

- ◆ 毎月 第2金曜日 13:00～16:00 (1人につき30分)
- ◆ 女性弁護士による面接相談(予約制)

キャリア相談

働く女性を対象に、お仕事やライフイベント(結婚・出産・子育て等)の両立について、キャリアに関する相談をお受けしています！あなたのこれからについて一緒に考えます。まずは、お電話ください！

※日程は現在調整中につき、決まり次第、広報誌やホームページにてお知らせします。

おしゃべりサロン

最近、家族や友人とゆっくり会話をしていますか？家族・子育て・人づきあい・仕事など…日頃感じていることや悩み事などを参加者同士で一緒に話し合う交流の場です。くつろぎながら互いの思いを語り合いましょう！

- ◆ 毎月 第1金曜日 10:00～12:00
- ◆ 定員10名 (先着順受付、予約制)

facebook

茨城県女性青少年課男女共同参画グループでは、facebook ページを開設いたしました。「ハーモニーいばらき」で検索していただき、ぜひ「いいね！」をお待ちしております♪



発行・お問合せ先

茨城県知事公室女性青少年課
女性プラザ男女共同参画支援室
〒310-0011 水戸市三の丸1-7-41

電話 029(233)3982

FAX 029(233)1330

URL <http://www.pref.ibaraki.jp/bugai/josei/danjo/challenge/index.html>

女性プラザ男女共同参画支援室 **検索**

ホームページはこちらから検索！



- 水戸駅から日立方面に向かって徒歩10分
- 車でお越しの方は三の丸庁舎(旧県庁舎)の駐車場をご利用ください。